

事業所名	ドリームズ・21st 徳川校
サービス種別	保育所等訪問支援

公表日 2025年 3月 28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教材教具は適切であるか。	○		・識字障害傾向のある児童に対して、一行ずつしか見えなくした「マスキングシート」を使用している。 ・自主的に準備や片付けができるようめあてカードを作成している。	・クラスのみみんなの見ていない場所の確保が必要。 ・教材教具は使っていない。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・マンツーマンで実施している。	
業務改善	3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・年度が進み支援員が交代する場合、引き継ぐ機会が無いので戸惑いが大きい。今後、引継ぎを適切に行っていきたい。
適切な支援の提供	4	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	5	定期的に保護者や学校の意向の確認やモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・モニタリング会議にはできる限り放デイで児童の様子を見ていただいている職員にも参加してもらっている。	
	6	個別支援計画を作成する際には、学校と連携し、学校や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・学校と随時話し合って要望に応えられるようにしている。	・連携するための話し合いの時間は、学校や担任にはあまりないので、今後工夫する必要がある。
	7	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			

	8	個別支援計画が共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
適切な支援の提供	9	学校と授業内容の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・水泳指導や校外学習については、事前に打ち合わせをしている
	10	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎回は時間的に無理。特に気になったときは、放課時間に担任と話をしている。 ・メールで共有している。
	11	学校と授業内容の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・授業内容の理念を尊重するのは難しい。質問する場の設定が必要かと思う。
	12	毎回の支援に関して、記録を取り、支援の検証・改善に繋がっているか。	○		
関係機関や保護者との連携	13	学校等をはじめ、関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・スクールカウンセラーと時々連携している。 ・進級、学級での交友関係等について担任と連携を深めてきたが勤務時間内に収めることは難しかった。
	14	ハグシステムなどを通じ、日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができているか。	○		・保護者からのメール内容を確認し、次の支援に生かすようにしている。 ・返信していただいた保護者とは、十分共通理解ができていると思う。
保護者等への説明等	15	学校に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		
	16	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○		
	17	保護者からの子育ての悩みや子どもからの相談に適切に応じ、必要な助言と支援が行われているか。	○		・記録に対して返信のある保護者には十分行えていると思う。 ・保護者からの要望に応じて、電話やメールで必要な助言、支援をしている。
	18	ハグシステム等で、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して必要に応じて発信しているか。	○		・保護者への連絡、相談は密に続けてきたが勤務時間内に行うのは難しかった。

	19	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
学校への説明等	20	保育所等訪問支援の実施後に、学校とカンファレンスを行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施後には行うことは学校の現状から不可能。支援の間に、また担任へのメールでそれにかえている。</li> <li>・担任とは行っている。</li> </ul>	・担任と随時話をしている。
	21	学校からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、助言を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と信頼関係を持つよう「説明」は十分にしてきた。</li> </ul>	
非常時等の対応	22	緊急時対応・感染症対応・事故防止・虐待防止等について適切な対応をしているか。	○		
	23	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の可能性のない児童を受け持っている。</li> </ul>	・引き続き、身体拘束が必要かどうかを検討していく。